令和３年度　厚生労働省保険局国民健康保険課　委託事業

データヘルス計画に基づく保健事業の実態調査等事業

報 告 書

令和４年（2022 年）３月

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

株式会社 NTTデータ 経営研究所

目次

第 1 章　事業概要 1
1.　事業の背景と目的 1
2.　調査方法 1
(1)　アンケート調査 1
(2)　ヒアリング調査 1
3.　実施体制 2
4.　実施スケジュール 3
第 2 章　実施内容 4
1.　有識者への意見聴取 4
(1)　第１回目の意見聴取 4
(2)　第２回目の意見聴取 7
(3)　第３回目の意見聴取 9
(4)　第４回目の意見聴取 10
2.　保険者のデータヘルス計画及び保健事業に関する調査の実施 13
(1)　アンケート調査 13
(2)　ヒアリング調査 31
3.　アンケート調査結果の分析 39
4.　情報提供資料の作成 43
5.　報告書の作成 43
第 3 章　調査結果・まとめ 43

第1章　事業概要

1.　　事業の背景と目的

国民健康保険法等に基づき、国民健康保険の保険者には、データヘルス計画を策定し、レセプト等のデータ分析に基づいてPDCAサイクルに沿った保健事業を展開することが求められており、国においても保険者が実施する加入者の予防・健康づくりの取組やデータヘルスの取組が円滑に進むよう支援していくこととしている。

保険者における予防・健康づくりの取組やデータヘルスの取組を更に推進するためには、先進・優良事例を他の保険者へ横展開していくことで、各保険者の取組の底上げを図っていくことが重要であり、厚生労働省では、従前より保険者の取組事例を調査し、調査結果と併せて収集した先進・優良事例を全国の国民健康保険の保険者に情報提供している。

以上の背景から、本事業は、以下2点を目的として実施した。

① 都道府県が取り組んでいるデータヘルス計画の標準化の状況や、保険者が実施した中間評価結果に基づくデータヘルス計画の見直し点、中間評価により見えた課題についての実態を把握すること

② 予防・健康づくり、重症化予防の方針として、特に推進することとしている保健事業（新型コロナウイルス感染症を踏まえた取組、ポピュレーションアプローチ、休日・夜間の健診、40歳未満を対象とした健診　等）や、都道府県と国保連合会とが協働・連携したデータ分析の先進・優良事例を収集し、都道府県・市町村に情報提供すること

2.　　調査方法

有識者への意見聴取を行いながら、以下の方法でアンケート調査及びヒアリング調査を行った。

(1)　アンケート調査

全国の都道府県と市町村国保を対象に、Excelを用いて調査票を作成し、メールにて送付した。全ての都道府県と市町村国保の調査票を回収し、集計の上、結果の考察を行った。

(2)　ヒアリング調査

都道府県に対するヒアリング調査として、主に「データヘルス計画の標準化の取組」「国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等の分析」について取組が進んでいる都道府県と未実施の都道府県からヒアリング対象先を選定し、10都県へヒアリングを実施した。

市町村国保に対するヒアリング調査として、都道府県の推薦等に基づき、データヘルス計画に基づく保健事業の実施にあたっての取組内容や工夫等が見受けられる保険者を

対象先として選定し、9 保険者へヒアリングを実施した。

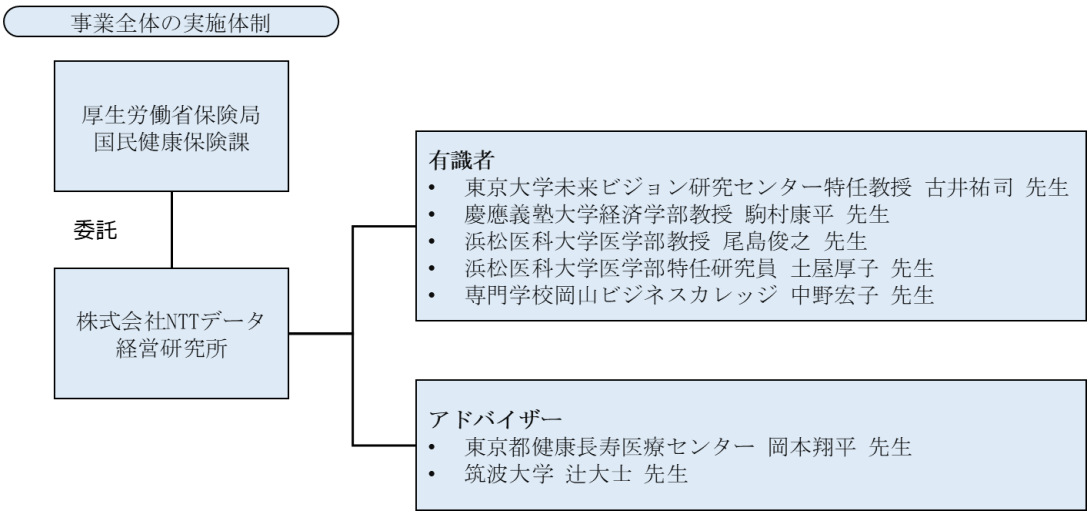
ヒアリングにあたっては web 会議システムを用い、聴取を行った。調査結果については、他の保険者にとって参考となると考えられる工夫や課題を抽出するとともに、取組事例として整理した。

3. 実施体制

本事業の実施にあたっては、５名の有識者（図表 1-1　事業の実施体制）から専門的な観点で助言を頂き、その内容を踏まえながら、調査設計及びアンケートの結果の集計、情報提供資料の取りまとめを進めた。また、分析の実施にあたっては、アドバイザーとして以下の先生方より適宜助言を受けた。

なお、本事業は、厚生労働省保険局国民健康保険課と適宜打合せの場を設け、相談の上で進めた。

図表 1-1　事業の実施体制



4.　　実施スケジュール

本事業は以下のスケジュールで実施した。

図表 1-2　事業の実施スケジュール

取組内容	令和３年					令和４年		
	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
（１）有識者への意見聴取		●	●		●		●	
（２）調査の実施								
１）アンケート調査票作成		→						
２）アンケートの実施			→	→				
３）ヒアリング対象の検討					→			
４）ヒアリング調査の実施						→	→	
（３）調査結果の分析								
1）分析視点の検討					→	→	→	
2）分析の実施						→	→	→
（４）情報提供資料の作成								
１）ヒアリングに基づく好事例の抽出							→	→
２）情報提供資料の作成							→	→
（５）報告書の作成								→

第2章　実施内容

1.　有識者への意見聴取

(1)　第１回目の意見聴取

2021 年９月上旬に、web 会議システムを用いて第１回目の有識者への意見聴取を行った。有識者への意見聴取は以下の日程で行った。

図表 2-1　第１回有識者意見聴取日程

日時	有識者名
2021 年９月３日 9:00～10:00	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 古井祐司先生
2021 年９月６日 13:00～14:00	浜松医科大学医学部特任研究員 土屋厚子 先生
2021 年９月７日 11:00～12:00	専門学校岡山ビジネスカレッジ 中野宏子 先生
2021 年９月７日 11:30～12:00	慶應義塾大学経済学部教授 駒村康平 先生
2021 年９月８日 10:00～11:00	浜松医科大学医学部教授 尾島俊之 先生

第１回目では、本事業の概要説明を行った上で、アンケート調査の設計及びアンケート調査で確認すべき項目についての意見を聴取した。アンケート設計、都道府県票、市町村国保票について、それぞれ以下のコメントを頂いた。

図表 2-2　アンケート設計に対するご意見

観点	ご意見
対象年度	● コロナ禍だからこそ保健事業の手を緩めてはいけないと考えている。対面が難しくても電話連絡等ができていることが望ましい。2020 年度を対象として調査をする形で問題ない。（土屋先生）
設問設計	● 「検討していない」都道府県と、「検討中だが実施に至っていない」都道府県では、抱えている課題等が異なるのではないか。（駒村先生） ● 日ごろ都道府県・市町村国保とコミュニケーションを取る中で、人材不足という点が最大の課題ではないかと感じている。人材の充足度によって、「検討していない」「検討中だが実施に至っていない」「実施中」等のステータスが左右されている可能性が考えられるため、アンケート調査で検証できると良い。（駒村先生） ● 取組を進める上での課題を確認する質問の選択肢として、

観点	ご意見
	「関係者間での合意形成が難しい」という選択肢案が記載されているが、もっと詳細に確認できると良い。誰とのコミュニケーションが難しいのか、何が障壁となって取組が進めにくいのか等、答えにくいとは思うが確認できると良いのではないか。（駒村先生）
回答方法	● 都道府県数は 47 であり、集計結果から示唆を出していくためには母数が限られている。そのため、自由記述を活用して、詳細な内容を回答してもらえると良いのではないか。一方で市町村国保は母数が多く集計結果から示唆を出していけると考えられるため、複数の選択肢を用意して傾向差を把握できると良い。（尾島先生）

図表 2-3　都道府県票に対するご意見

観点	ご意見
基本情報	● 保健所との連携状況について確認できると良い。都道府県の体制や取組状況は様々であるが、一部には保健所と連携して都道府県主体でうまく取組を進めているケースがある。（古井先生）
データヘルス計画の標準化の取組	<u>標準化の取組の実施状況</u> ● データヘルス計画の標準化に対する各都道府県の意向や考えを確認できると良いのではないか。（土屋先生） <u>標準化の取組の阻害要因</u> ● 標準化の取組が進まない理由として、「データヘルス計画の標準化の意味・意義がわからない」「標準化の進め方がわからない」等が多いのではと想定される。（古井先生） ● 標準化の取組に対して、事業が画一化してしまうことを懸念している声も聞くことがある。標準化の意味・意義を正しく共有できているかどうか、についても阻害要因となっているのではないか。（中野先生） <u>標準化のメリット</u> ● 「成果の出ている取組事例を参考にすることができている」「引継ぎに活用できている」等があるのではないか。また、実際の現場では業務負担の軽減にも役立っているという反応もある。ゼロベースから計画を作成する必要がなくなり、事業内容や実施方法の工夫等に検討の時間を割く

観点	ご意見
	ことができるようになっているようである。（古井先生） ● 「ノウハウ」という言葉は、あいまいな表現であるため、選択肢等で用いない方が良いと考える。具体的な課題等が分かるよう選択肢を設計するべきである。（古井先生）
国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等の分析	<u>協働・連携の状況</u> ● 国保連合会との協働・連携の状況を確認するためには、都道府県と国保連合会との間で行っている連絡会等のコミュニケーションの頻度を確認すると良いのではないか。（土屋先生） ● 都道府県が国保の保険者として保険者機能を担おうとしていれば、自ずと国保連との協働・連携は進んでいる可能性が高いのではないか。（尾島先生） ● 国保連合会は、レセプトデータ等の分析に強みを有している。一方で、都道府県は政策立案能力を有している。両者が強みを生かして連携できることが望ましい。特に、予防・健康増進に係る事業の多くは県庁の健康増進課が企画・運営を担当していることが多く、それらの事業においても国保連合会のデータが活用されていることが協働・連携の形としては望ましいのではないか。（尾島先生）
医療費適正化に向けた取組	● 地域格差の是正に関する取組の有無についても、確認できると良いのではないか。どのような分析を行っているか等の、分析内容まで聞けると良いのではないか。（古井先生）

図表 2-4　市町村国保票に対するご意見

観点	ご意見
基本情報	● 「都道府県・保健所からの支援を受けたか」「国保連支援評価委員会を活用し、助言等を受けたか」についても確認できると良いのではないか。（古井先生）
データヘルス計画の中間評価	<u>中間評価未実施の理由</u> ● 中間評価を実施していない保険者において、その理由としては、「人が足りていない」、「専門知識を持つ人がいない」等が挙げられるのではないか。職員総数が足りていない場合と、専門人材が足りていない場合では、対応方法が異なってくると考えられる。（古井先生） ● 中間評価を実施していない理由を問う選択肢の中に、

観点	ご意見
	「優先順位が低い」という選択肢を設けてはどうか。コロナ対策等を進める中で、中間評価の優先順位を下げている保険者は思いのほか多いのではないか。（古井先生） ● 市町村国保において、データヘルス計画の中間評価に専従で関わる人材を配置している市町村は少ないと考えられる。（中野先生） 中間評価の課題 ● 「評価方法がわからない」「評価結果をどのようにして見直しに繋げるべきかわからない」等の課題も有しているのではないか。（古井先生）
個別の保健事業	保健事業全体について ● 職域との連携をどのように行っているのか、という観点も重要である。（土屋先生） ● 保健衛生部門の保健師等とどのような連携を行っているのかを確認できると良い。庁内連携は保健事業を実施する上では大切な要素である。（中野先生） ● 個別の保健事業については、過去に実施していたが、効果が見受けられない等の理由で現在は実施していない場合もある。選択肢で、そのようなケースも拾えるよう設計できると良い。（尾島先生） 新型コロナウイルス感染症対策の取組 ● 新型コロナウイルス対策は、様々な対策内容が想定されるため、「その他」の選択肢を用意して、自由記述で回答してもらう形が良いのではないか。（古井先生）

(2)　第２回目の意見聴取

2021 年９月中旬に、web 会議システムを用いて第２回目の有識者への意見聴取を行った。有識者への意見聴取は以下の日程で行った。

図表 2-5　第２回有識者意見聴取日程

日時	有識者名
2021 年９月 15 日 11:00～12:00	専門学校岡山ビジネスカレッジ 中野宏子 先生
2021 年９月 15 日 13:00～14:00	浜松医科大学医学部教授 尾島俊之 先生

2021 年 9 月 16 日 10:30～11:30	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 古井祐司先生
2021 年 9 月 16 日 11:30～12:30	浜松医科大学医学部特任研究員 土屋厚子 先生
2021 年 9 月 22 日 10:00～11:00	慶應義塾大学経済学部教授 駒村康平 先生

第２回意見聴取においては、アンケート調査の設問及び選択肢の内容等について、以下のコメントを頂いた。

図表 2-6　都道府県票に対するご意見

観点	ご意見
データヘルス計画の標準化の取組	● 調査票の中で、データヘルス計画の標準化に関する説明を記載しておけると良いのではないか。（古井先生）
国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等の分析	● 「分析にどのようなデータを用いているか」という質問の選択肢には、人口動態統計と介護予防日常生活圏域ニーズ調査等も含めた方が良いのではないか。数字で地域の状況を把握する際にはこれらの調査結果を参考にすることが多いと思われる。（尾島先生）

図表 2-7　市町村国保票に対するご意見

観点	ご意見
全体の構成	● 保健事業の委託状況についての質問が調査票の最初に位置していると、アンケートの趣旨が正しく伝わらない可能性がある。（中野先生）
基本情報	● 個別の保健事業の実施支援まで行えている都道府県は、人員数の関係から多くないはずである。支援の内容として「情報を提供する」「事業対象者のリストを抽出する」「窓口を設置する」「ネットワークを構築する」等の選択肢であれば、イメージが湧き、回答が得られやすいのではないか。（中野先生） ● 国保連の支援評価委員会を活用していない、ということであれば、その理由を確認できると良い。（中野先生）
データヘルス計画の中間評価	● 中間評価を担当している職員数だけではなく、どのような庁内他部門と連携して評価を行ったかを確認できると良い。中間評価に際して、健康増進関連課、介護関連

観点	ご意見
	課等と連携する体制がとられていることが望ましい。（中野先生） ● 中間評価結果のフィードバック先についての選択肢には、庁外機関を含めたほうが良いのではないか。（中野先生）
個別の保健事業	● 個別の保健事業の成果について問う際には、まずは成果の有無を確認する設問を入れた方が良いのではないか。最初から自由記述では回答が得られない可能性もある。少なくとも成果の有無だけでも拾えると良いのではないか。（尾島先生） 新型コロナウイルス感染症対策の取組について ● アンケート調査だけでは確認が難しい部分であると考えられるため、ヒアリング調査の際に詳細を確認できると良いのではないか。（古井先生） ポピュレーションアプローチについて ● ハイリスク者を想定したポピュレーションアプローチの取組として、ある程度リスクが高い者に対して、生活習慣病予防教室のような形で事業を行うことがある。重症化予防の前段階の取組であり、このような取組の状況についても確認できると良いのではないか。（中野先生） ● ポピュレーションアプローチとしては、保健委員等の地域組織と連携した取組が行われていることがあるため、これについても選択肢に含めて実施状況を確認できると良い。（尾島先生）

(3)　第 3 回目の意見聴取

2021 年９月中旬に、web 会議システムを用いて第３回目の有識者への意見聴取を行った。有識者への意見聴取は以下の日程で行った。

図表 2-8　第３回有識者意見聴取日程

日時	有識者名
2021 年 12 月 7 日 14:30～15:30	慶應義塾大学経済学部教授 駒村康平 先生

2021 年 12 月 7 日 18:00～19:00	浜松医科大学医学部特任研究員 土屋厚子 先生
2021 年 12 月 10 日 15:00～16:00	浜松医科大学医学部教授 尾島俊之 先生
2021 年 12 月 10 日 16:00～17:00	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 古井祐司先生
2021 年 12 月 13 日 11:00～12:00	専門学校岡山ビジネスカレッジ 中野宏子 先生

第３回意見聴取においては、アンケート調査の集計方針及びヒアリング先の候補について、以下のコメントを頂いた。

図表 2-9 アンケート調査全体の集計方針に対するご意見

観点	ご意見
職員体制によるクロス集計	● クロス集計に用いる職員数の分類については、案の４群（「一般職はいるが専門職はいない群」「専門職はいるが一般職はいない群」「一般職・専門職共にいる群」「一般職・専門職共に専任職員がいない群」）に分ける形で良いのではないか。（全有識者）

図表 2-10 市町村国保票の集計方針に対するご意見

観点	ご意見
外部委託の有無によるクロス集計	● 被保険者数規模によって差が現れるのではないか。「外部委託していない」と回答している市町村国保の規模を把握したい。（駒村先生）
都道府県・保健所の支援の有無によるクロス集計	● 保健所政令市は支援を受けていない傾向を有している可能性があるため、群を分けて集計する必要があるのではないか。（駒村先生）

(4) 第４回目の意見聴取

2022 年２月中旬から下旬にかけて、web 会議システムを用いて第４回目の有識者への意見聴取を行った。有識者への意見聴取は以下の日程で行った。

図表 2-11 第４回有識者意見聴取日程

日時	有識者名
2022 年２月 22 日 13:00～14:00	慶應義塾大学経済学部教授

	駒村康平 先生
2022 年２月 22 日 14:00～15:00	浜松医科大学医学部特任研究員 土屋厚子 先生
2022 年２月 24 日 15:30～16:30	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 古井祐司先生
2022 年２月 25 日 10:00～11:00	浜松医科大学医学部教授 尾島俊之 先生
2022 年３月２日 11:30～12:30	専門学校岡山ビジネスカレッジ 中野宏子 先生

第４回意見聴取においては、アンケート集計結果の考察及びヒアリング結果の取りまとめ方針について、以下のコメントを頂いた。

図表 2-12　都道府県票の集計結果に対するご意見

観点	ご意見
データヘルス計画の標準化	● 「データヘルス計画の標準化のやり方がわからない」「意義がわからない」という回答が多くある。市町村への情報提供だけではなく、都道府県への情報提供も必要である。（中野先生）
国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等の分析	● 都道府県が国保連合会と連携する上での課題として、「保健師等の人材不足」が多くある。データの利活用を国保連合会と進める上で、保健師等の専門職がいないことによって、どのような切り口で分析を行うべきか等の仮説が立てづらいのではないか。（古井先生）
医療費適正化の取組	● 「データ分析を行っている」と回答している多くの都道府県で、医療費は評価指標として設定されていない。県を横断した医療費分析の取組がまだ進んでいない、という印象を受ける。課題として指摘できると良いのではないか。（古井先生）

図表 2-13　市町村国保票の集計結果に対するご意見

観点	ご意見
基本情報	● 被保険者数規模の小さい保険者では、マンパワー等の状況から保健所の支援を受けきれていない実情があるのではないか。（駒村先生）

観点	ご意見
	● 支援を受けたほうが良いと考えらえる小規模な保険者が、支援を受けていない。人員等資源がない中で、外部を頼ることすらできていないのではないか。小規模な保険者では人材育成が課題にあがることが多い。内製だけでは難しい部分もあるため、都道府県による共同事業化等のパッケージによる支援や、保健所・外部事業者による支援が必要だと感じる。（古井先生） ● 手を挙げた市町村に対して、支援評価委員会が支援する形となっている。手を挙げない市町村をどのようにして支援していくかが大切である。（尾島先生）
ポピュレーションアプローチ	● ポピュレーションアプローチは大規模な保険者と小規模な保険者で実施傾向が異なっている。小規模な保険者はリソースも限られるため、既存の特定健診や教室等既存の仕組みを活用してポピュレーションアプローチを行っていけると良いのではないか。一方で、大規模な保険者では、ハイリスクアプローチの対象者数も多く、なかなかポピュレーションアプローチには手が回せないのではないか。大規模な保険者では医師会等との連携ができている傾向が見受けられるため、医療機関・健診機関と連携しながら対応を進めるのが良いのではないか。（古井先生）
40 歳未満を対象とした健診	● 40 歳未満の健診は将来投資として行うべき事業である。この実施率を上げることが大切になるのではないか。（中野先生）

2.　保険者のデータヘルス計画及び保健事業に関する調査の実施

(1)　アンケート調査

2021 年 10 月上旬から 2021 年 12 月上旬までの期間で、全国の都道府県及び市町村国保を対象にアンケート調査を実施した。

アンケート調査項目（図表 2-14　都道府県向けアンケート調査項目一覧 及び 図表 2-15　市町村国保向けアンケート調査項目一覧）は、有識者等のご意見を踏まえ、厚生労働省保険局国民健康保険課と相談の上で決定した。

アンケートは 47 都道府県及び 1,716 の市町村国保から回答があり、回収率は 100.0%であった。

図表 2-14　都道府県向けアンケート調査項目一覧

観点	設問	回答選択肢
1．保健事業の実施に係る状況	（1）貴庁において国保の保健事業を担当する専任職員（会計年度任用職員を含む）はそれぞれ何名いますか。数字を入力してください。	1　一般職 2　保健師 3　看護師 4　管理栄養士 5　栄養士 6　その他専門職
	（2）今年度、貴庁の国保にかかる保健事業において外部へ委託をしていますか。当てはまるものを一つお答えください。	1　委託している 2　委託していない 3　その他（自由記載）
	（3）KDB 等のデータ分析の結果に基づき、施策を検討する際に都道府県の保健所（住民と接点を持つ保健師など）と意見交換を行っていますか。当てはまるものを一つお答えください。	1　はい 2　いいえ
	（4）保健事業・医療費適正化の実施に係る状況について、以下の質問に対し当てはまるもの全てに○を付けてください。 a.　都道府県として市町村国保の支援を行う際に、どの事業について都道府県の保健所（住民と接点を持つ保健師など）と協働・連携	①レセプトデータ等の分析 ②特定健康診査の実施率向上に関する取組 ③特定保健指導の実施率向上に関する取組 ④特定健診以外の健診・検診 ⑤糖尿病性腎症重症化予防事業 ⑥その他の生活習慣病の重症化

観点	設問	回答選択肢
	していますか。 b. 医療費適正化に向けて、貴庁として具体的にどのような保健事業等を行っていますか。 c. 外部委託を活用している事業をお答えください。	予防事業 ⑦健康教育（健康教室、個別健康教育） ⑧健康相談 ⑨歯科保健事業 ⑩禁煙支援事業 ⑪後発医薬品（ジェネリック）の利用推奨の取組 ⑫ ⑦～⑪以外の健康増進活動（ポピュレーションアプローチ） ⑬重複・頻回受診者への取組 ⑭重複・多剤服用者への取組 ⑮地域包括ケアシステムを推進する取組 ⑯その他（自由記載）
２．医療費適正化に向けた取組	（１）医療費適正化に向けた取組全体の進捗状況をどのような指標で評価していますか。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１ 健康寿命 ２ 平均寿命 ３ 医療費（総額） ４ 一人当たり医療費 ５ 健康状況（メタボ該当率や高血圧有所見率、その他有病率等） ６ 健診受診率 ７ 評価を実施していない ８ その他の指標（自由記載）
	（２）個別の保健事業等の効果についてどのような指標で評価していますか。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１ アウトカム評価指標 ２ アウトプット評価指標 ３ プロセス評価指標 ４ ストラクチャー評価指標 ５ 評価を実施していない
	（３）医療費適正化に向けた取組についてすでに効果検証が終わっている場合は、どのような成果が得られたのかご回答ください。	自由記載

観点	設問	回答選択肢
	（４）医療費適正化に向けた取組を実施する中でどのような課題を感じますか。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１．被保険者の意識に関する問題（被保険者に意欲がない等） ２．市町村との連携に関する問題 ３．庁内での連携（保健所との連携を含む）に関する問題 ４．外部機関（学識有識者・国保連等）との連携に関する問題 ５．専門知識を持った人材の不足（保健師等） ６．事務対応等を行う人材の不足（事務職等） ７．実施方法に関する問題 ８．周知方法に関する問題 ９．その他（自由記載）
	（５）保健事業と介護事業の一体化に向けてどのような課題を感じていますか。	自由記載
３　国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等の分析	（１）国保連合会と協働・連携してレセプトデータ等の分析を実施していますか。当てはまるものを一つお答えください。	１　実施中 ２　検討はすでに終わり実施予定 ３　現在検討中 ４　実施も検討もしていない
	（２）現時点で国保連合会と協働・連携してレセプトデータ等の分析を行っていない理由を教えてください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１　専門知識を持った人材の不足（保健師等） ２　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） ３　優先度が低い ４　庁内の調整がつかない ５　国保連合会との調整がつかない ６　その他（自由記載）
	（３）国保連合会とはレセプトデータ等の分析にあたって、どのくらいの頻度で協働・連携をしてい	１　月に１回以上 ２　３か月に１回以上、月に１回未満

観点	設問	回答選択肢
	ますか。当てはまるものを一つお答えください。	3　半年に1回以上、3か月に1回未満 4　1年1回以上、半年に1回未満 5　1年に1回より少ない
	（4）どのような目的で国保連合会と協働・連携してレセプトデータ等の分析を行っていますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。	1　対象とすべき疾病の抽出等、課題抽出 2　事業対象者の検討 3　事業成果の検証 4　県内の医療費格差 5　地域における医療格差の是正 6　その他（自由記載）
	（5）（4）で回答された目的を達成するためにどのようなデータを用いて分析していますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。	1　市町村国保のレセプト・健診データ 2　後期高齢者のレセプト・健診データ 3　その他の医療保険者のレセプト・健診データ 4　栄養調査等の健康増進にかかる調査結果 5　介護保険のレセプトデータ 6　その他の介護保険に関する調査結果（介護予防日常生活圏域ニーズ調査、介護施設調査等） 7　人口動態にかかるデータ 8　その他（自由記載）
	（6）国保連合会と協働・連携してレセプトデータ等の分析を行うことについて、どのようなメリットを感じますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。	1　これまで行っていなかった分析を行うようになった 2　市町村に対して、より深い示唆出しができるようになった 3　データ分析の結果を政策へ活かすことができるようになった 4　その他（自由記載）

観点	設問	回答選択肢
	（7）国保連合会と協働・連携してレセプトデータ等の分析を行う中で感じる課題をお答えください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	1　庁内での連携に関する問題 2　国保連合会との連携に関する問題 3　専門知識を持った人材の不足（保健師等） 4　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） 5　実施方法に関する問題 6　その他（自由記載）
	（8）レセプトデータ等の分析結果をもとに、国保連合会と協働・連携して課題の考察・施策の検討を行っていますか（行いましたか）。当てはまるものを一つお答えください。	1　現在行っている 2　過去に行ったことがある 3　行ったことはない 4　その他（自由記載）
	（9）具体的にどのような成果（明らかになった課題や示唆、施策の方向性等）が得られましたか。	自由記載
4．データヘルス計画の標準化に係る取組状況	（1）データヘルス計画の標準化についてどのようなお考えをお持ちですか。当てはまるものを一つお答えください。	1　標準化の必要性をとても感じている 2　標準化の必要性をやや感じている 3　標準化の必要性をあまり感じていない 4　標準化の必要性を全く感じていない 5　その他（自由記載）
	（2）データヘルス計画の標準化に関する取組状況を教えてください。当てはまるものを一つお答えください。	1　標準化を実施中 2　標準化の検討は終わり実施予定 3　現在検討中 4　実施も検討もしていない 5　その他（自由記載）
	（3）現時点でデータヘルス計画の標準化の取組にいたっていない理	1　データヘルス計画の標準化の意義がわからない

観点	設問	回答選択肢
	由を教えてください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	2　事業としての優先順位が低い 3　財源の確保が難しい 4　標準化のやり方が分からない 5　専門知識を持つ人材の不足（保健師等） 6　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） 7　市町村との調整がつかない 8　庁内の調整がつかない 9　その他（自由記載）
	（4）データヘルス計画の標準化において、どのような取組を実施していますか。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	1　データヘルス計画の様式・記載事項を揃える 2　共通の評価指標を用いることで実績を比較可能にする 3　効果的な保健事業（方法・体制）を抽出する 4　効果的な保健事業（方法・体制）をパターン化する 5　その他（自由記載）
	（5）データヘルス計画の標準化の取組内容について具体的にお答えください。	自由記載
	（6）データヘルス計画の標準化を実施するにあたって、どのような工夫を行いましたか。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	1　外部からのサポートを活用 2　専門知識を増やす 3　専門人材を増やす 4　市町村との連携の強化 5　その他（自由記載）
	（7）データヘルス計画の標準化を行うことについて、どのようなメリットを実感していますか。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	1　市町村の現状を俯瞰できた 2　市町村の手間・負担が減った 3　外部から市町村に支援をしやすくなった 4　市町村相互で工夫を参考に

観点	設問	回答選択肢
		しやすくなった ５　健康課題に応じた評価指標の設定ができるようになった ６　業務の引継ぎがしやすくなった ７　その他（自由記載）
	（８）データヘルス計画の標準化を実施する中で感じる課題をお答えください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１　市町村との合意形成の困難さ ２　庁内の合意形成の困難さ ３　専門知識を持った人材の不足（保健師等） ４　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） ５　財源・予算の不足 ６　データヘルス計画の標準化自体への理解不足 ７　その他（自由記載）
	（９）データヘルス計画の標準化の効果検証を行っていますか。当てはまるものを一つお答えください。	１　実施中 ２　検討は終わっており実施予定 ３　現在検討中 ４　実施も検討もしていない
５．ヒアリング調査に向けた管内市町村の推薦	以下の 4 つの保健事業のいずれかについて特に工夫を凝らした取組を行っている管内市町村国保と推薦理由をお答えください。 ・新型コロナウイルス感染症対策をふまえた取組 ・ポピュレーションアプローチ ・休日・夜間の健診実施 ・40 歳未満を対象とした健診の実施	自由記載

図表 2-15　市町村国保向けアンケート調査項目一覧

観点	設問	回答選択肢
１.保健事業の実施に係る状況	（１）貴保険者において国保の保健事業を担当する専任職員（会計年度任用職員を含む）はそれぞれ何名いますか。数字を入力してください。	１　一般職（専門職以外） ２　保健師 ３　看護師 ４　管理栄養士 ５　栄養士 ６　その他専門職（自由記載）
	（２）今年度、貴保険者の国保にかかる保健事業において外部へ委託をしていますか。当てはまるものを一つお答えください。	１　委託している ２　委託していない ３　その他（自由記載）
	（３）外部委託を活用している事業をお答えください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１　レセプトデータ等の分析 ２　特定健康診査の実施率向上に関する取組 ３　特定保健指導の実施率向上に関する取組 ４　特定健診以外の健診・検診 ５　糖尿病性腎症重症化予防事業 ６　その他の生活習慣病の重症化予防事業 ７　健康教育（健康教室、個別健康教育） ８　健康相談 ９　歯科保健事業 10　禁煙支援事業 11　後発医薬品（ジェネリック）の利用推奨の取組 12　７～１１以外の健康増進活動（ポピュレーションアプローチ） 13　重複・頻回受診者への取組 14　重複・多剤服用者への取組 15　地域包括ケアシステムを推進する取組

観点	設問	回答選択肢
		16　データヘルス計画の策定 17　データヘルス計画の評価 18　その他（自由記載）
	（4）保健事業への支援に係る状況について、以下の質問に対し当てはまるもの全てに○を付けてください。 a. 保健事業の実施において、都道府県や保健所からどのような支援を受けていますか。 b. 保健事業の実施において、国保連支援評価委員会からどのような支援を受けていますか。	①　レセプトデータ等の分析 ②　各種情報提供 ③　事業対象者のリストの抽出 ④　窓口の設置 ⑤　ネットワークの構築 ⑥　個別の保健事業の実施計画策定の助言 ⑦　個別の保健事業の実施結果に対する評価 ⑧　その他（自由記載）
2.データヘルス計画の中間評価	（1）中間評価を実施済ですか。当てはまるものを一つお答えください。	1　実施済 2　実施中又は実施予定 3　現在検討中 4　実施も検討もしていない
	（2）中間評価を実施できなかった理由を教えてください。当てはまるもの全てに○を付けてください。	1　計画の策定が遅れたため中間年でなかった 2　優先順位が低い 3　財源の確保が難しい 4　専門知識を持った人材の不足（保健師等） 5　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） 6　庁内の調整がつかない 7　外部の関係機関との調整がつかない 8　分析するデータが集められていない 9　その他（自由記載）
	（3）中間評価ではどの指標について評価を行いましたか。当てはまるもの全てに○を付けてください。	1　計画全体で定めた目標（例：健康寿命、1人当たり医療費等） 2　個別の保健事業のアウトカム評価指標

観点	設問	回答選択肢
		3　個別の保健事業のアウトプット評価指標 4　その他（自由記載）
	（4）中間評価を実施した中で感じた課題をお答えください。当てはまるもの全てに○を付けてください。	1　評価方法が分からない 2　評価後の計画および保健事業の見直し方が分からない 3　評価方法が妥当か分からない 4　専門人材が不足している（保健師等） 5　事務対応等を行う人が不足している（事務職等） 6　その他（自由記載）
	（5）中間評価の結果を関連課等、庁内外の関係者にフィードバックしましたか。また、フィードバックをした場合はどの部署へフィードバックを行ったか、当てはまるもの全てに○を付けてください。	1　健康増進関連課 2　介護保険関連課 3　都道府県設置の保健所 4　市区町村設置の保健所 5　医師会・歯科医師会・薬剤師会等の職能団体 6　都道府県 7　国保連合会（支援評価委員会を含む） 8　フィードバックをしていない 9　その他関係機関・関係者（自由記載）
	（6）中間評価をもとに計画の見直しを実施しましたか。当てはまるものを一つお答えください。	1　実施済 2　実施中又は実施予定 3　現在検討中 4　実施も検討もしていない
	（7）計画を見直した保健事業について、保健事業毎に以下の質問に対し当てはまるもの全てに○を付けてください。 a. 中間評価をもとに、目標設定	①　特定健康診査の実施率向上に関する取組 ②　特定保健指導の実施率向上に関する取組 ③　特定健診以外の健診・検診

観点	設問	回答選択肢
	を見直しましたか（目標として用いている指標・数値の変更）。 b. 中間評価をもとに、実施体制を見直しましたか（人員の拡充、他課の協力、外注業者の活用等）。 c. 中間評価をもとに、実施方法・内容を見直しましたか（対象者の抽出方法の変更、通知方法の変更等）。	④　糖尿病性腎症重症化予防事業 ⑤　その他の生活習慣病の重症化予防事業 ⑥　健康教育（健康教室、個別健康教育） ⑦　健康相談 ⑧　歯科保健事業 ⑨　禁煙支援事業 ⑩　後発医薬品（ジェネリック）の利用推奨の取組 ⑪　⑥～⑩以外の健康増進活動（ポピュレーションアプローチ） ⑫　重複・頻回受診者への取組 ⑬　重複・多剤服用者への取組 ⑭　地域包括ケアシステムを推進する取組 ⑮　その他（自由記載）
	（８）中間評価で行った具体的な見直し内容を教えてください。	自由記載
	（９）中間評価をふまえた見直しを行う中で感じた課題をお答えください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１　被保険者の意識に関する問題（保健事業への被保険者の参加意欲等） ２　庁内の調整に関する問題 ３　外部の関係機関との連携に関する問題 ４　専門知識を持った人材の不足（保健師等） ５　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） ６　実施方法に関する問題 ７　その他（自由記載）
	（１０）中間評価の際、計画の見	１　中間評価の結果、見直しの

観点	設問	回答選択肢
	直しを行わなかった理由を教えてください。当てはまるもの全てに○を付けてください。	必要がない ２　庁内の調整がつかない ３　外部の関係機関との調整がつかない ４　優先度が低い ５　専門知識を持った人材が足りない（保健師等） ６　事務対応等を行う人材が足りない（事務職等） ７　見直し方法が分からない ８　その他（自由記載）
３．個別の保健事業「新型コロナウイルス感染症対策をふまえた取組」	（１）新型コロナウイルス感染症対策として、保健事業の実施をどのように工夫していますか。国保課として携わっている保健事業における取組をお答えください。当てはまるもの全てに○を付けてください。 ※時期の変更や集団検診の取り止めは含みません。新型コロナウイルス感染症をふまえて、新たに始めた取組をお答えください。	１　健診会場における感染予防対策の徹底 ２　保健指導等の面接時の感染予防対策の徹底 ３　Web 会議を用いた保健指導の実施 ４　電話による指導対象者へのフォローの実施 ５　チャットツールを用いた指導対象者へのフォローの実施 ６　テレビ・ウェブを用いた映像コンテンツの配信（健康教育プログラムの配信等）（自由記載） ７　その他（自由記載） ８　工夫は行っていない
	（２）新型コロナウイルス感染症対策をふまえた工夫を行うために注力したことを教えてください。当てはまるもの全てに○を付けてください。	１　庁内の調整 ２　追加予算の確保 ３　専門人材の確保 ４　事務職における専門知識の強化 ５　注力したことはない ６　その他（自由記載）
	（３）新型コロナウイルス感染	１　被保険者の意識に関する問

観点	設問	回答選択肢
	症対策をふまえた工夫を行う中での課題をお答えください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	題（被保険者が取組に協力的ではない等） ２　庁内の調整に関する問題 ３　外部の関係機関との連携に関する問題 ４　専門知識を持った人材の不足（専門職等） ５　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） ６　実施方法に関する問題 ７　周知方法に関する問題 ８　その他（自由記載）
	（４）新型コロナウイルス感染症対策をふまえた工夫を行うことで成果は得られましたか。当てはまるものを一つお答えください。	１　はい ２　いいえ
	（５）具体的にどのような成果が得られましたか。	自由記載
４．個別の保健事業「ポピュレーションアプローチ事業」	（１）ポピュレーションアプローチの取組状況を教えてください。当てはまるものを一つお答えください。	１　実施中 ２　検討はすでに終わり実施予定 ３　検討中 ４　実施も検討もしていない ５　過去に実施していたが現在は実施していない
	（２）ポピュレーションアプローチではどのような内容を行っていますか。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１　運動教室（フレイル対策やウォーキング事業を含む）の開催 ２　栄養教室（減塩等）や口腔ケア教育（オーラルフレイル対策を含む）の開催 ３　通いの場の開催 ４　子どもや親子を対象とした健康教室の開催

観点	設問	回答選択肢
		５　広報誌・ホームページ等を通じた情報発信 ６　LINE 等の SNS を通じた情報配信 ７　ケーブルテレビを通じた情報配信 ８　その他
	（３）上記で回答いただいたポピュレーションアプローチについて具体的な取組内容を教えてください。	自由記載
	（４）ポピュレーションアプローチを行うために取り組んでいる工夫を教えてください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１　庁内の調整 ２　既存事業・予算の活用 ３　追加予算の確保 ４　専門人材の確保 ５　事務職における専門知識の強化 ６　保健委員等の地域組織の活用 ７　社会福祉協議会その他の外部資源の活用 ８　健康アプリ等の ICT ツールの活用 ９　健康ポイント等のインセンティブの導入 10　その他のナッジ理論を活用したアプローチ 11　工夫していることはない 12　その他（自由記載）
	（５）ポピュレーションアプローチを実施して成果を得ることはできましたか。当てはまるものを一つお答えください。	１　はい ２　いいえ
	（６）具体的にどのような成果が得られましたか。	自由記載

観点	設問	回答選択肢
	（7）ポピュレーションアプローチをこれまで行っていない理由をお答えください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	1　専門知識を持った人材の不足（保健師等） 2　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） 3　効果的な取組方法が分からない 4　庁内の調整が難しい 5　外部機関との連携が難しい 6　財源の確保が難しい 7　費用対効果が低い 8　取組の優先度が低い 9　すでに目標を達成している 10　その他（自由記載）
5．個別の保健事業 「休日・夜間の健診実施」	（1）休日の健診実施状況を教えてください。当てはまるものを一つお答えください。	1　実施中 2　検討はすでに終わり実施予定 3　検討中 4　実施も検討もしていない 5　過去に実施していたが現在は実施していない
	（2）夜間の健診実施状況を教えてください。当てはまるものを一つお答えください。	1　実施中 2　検討はすでに終わり実施予定 3　検討中 4　実施も検討もしていない 5　過去に実施していたが現在は実施していない
	（3）休日・夜間の健診で行っている具体的な取組内容を教えてください。	自由記載
	（4）休日・夜間の健診を行うために取り組んでいる工夫を教えてください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	1　庁内の調整 2　追加予算の確保 3　専門人材の確保 4　事務職における専門知識の強化

観点	設問	回答選択肢
		5　健診実施機関との連携の強化 6　工夫していることはない 7　その他（自由記載）
	（5）休日・夜間の健診を実施して成果を得ることはできましたか。当てはまるものを一つお答えください。	1　はい 2　いいえ
	（6）具体的にどのような成果が得られましたか。	自由記載
	（7）休日・夜間の健診をこれまで行っていない理由をお答えください。当てはまるもの全てに○を付けてください。	1　専門知識を持った人材の不足（保健師等） 2　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） 3　効果的な取組方法が分からない 4　庁内の調整が難しい 5　外部機関との連携が難しい 6　財源の確保が難しい 7　費用対効果が低い 8　取組の優先度が低い 9　すでに目標を達成している 10　その他（自由記載）
6．個別の保健事業 「40 歳未満の健診実施」	（1）40 歳未満を対象とした健康診査の実施状況を教えてください。当てはまるものを一つお答えください。	1　実施中 2　検討はすでに終わり実施予定 3　検討中 4　実施も検討もしていない 5　過去に実施していたが現在は実施していない
	（2）40 歳未満を対象とした健診の具体的な取組内容を教えてください。	自由記載
	（3）40 歳未満を対象とした健診受診者のうち、ハイリスク者に対	1　実施中 2　検討はすでに終わり実施予

観点	設問	回答選択肢
	する健康相談や保健指導の実施状況を教えてください。当てはまるものを一つお答えください。	定 ３　検討中 ４　実施も検討もしていない ５　過去に実施していたが現在は実施していない
	（４）40 歳未満の健診受診者のうち、ハイリスク者に対する健康相談や保健指導の具体的な取組内容を教えてください。	自由記載
	（５）40 歳未満を対象とした健診を行うために取り組んでいる工夫を教えてください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１　庁内の調整 ２　追加予算の確保 ３　専門人材の確保 ４　事務職における専門知識の強化 ５　健診実施機関との連携の強化 ６　工夫していることはない ７　その他（自由記載）
	（６）40 歳未満を対象とした健診を実施して成果を得ることはできましたか。当てはまるものを一つお答えください。	１　はい ２　いいえ
	（７）具体的にどのような成果が得られましたか。	自由記載
	（８）40 歳未満を対象とした健診をこれまで行っていない理由をお答えください。当てはまるもの全てに〇を付けてください。	１　専門知識を持った人材の不足（保健師等） ２　事務対応等を行う人材の不足（事務職等） ３　効果的な取組方法が分からない ４　庁内の調整が難しい ５　外部機関との連携が難しい ６　財源の確保が難しい ７　費用対効果が低い ８　取組の優先度が低い

観点	設問	回答選択肢
		９　すでに目標を達成している 10　その他（自由記載）
７．その他の個別の保健事業	（１）庁外の組織と連携して取り組んでいる保健事業があればご回答ください。当てはまるもの全てに○を付けてください。	１　特定健康診査の実施率向上に関する取組 ２　特定保健指導の実施率向上に関する取組 ３　特定健診以外の健診・検診 ４　糖尿病性腎症重症化予防事業 ５　その他の生活習慣病の重症化予防事業 ６　健康教育（健康教室、個別健康教育） ７　健康相談 ８　歯科保健事業 ９　禁煙支援事業 10　後発医薬品（ジェネリック）の利用推奨の取組 11　６～10 以外の健康増進活動（ポピュレーションアプローチ） 12　重複・頻回受診者への取組 13　重複・多剤服用者への取組 14　地域包括ケアシステムを推進する取組 15　庁外の組織とは連携していない 16　その他（自由記載）
	（２）保健事業の実施にあたって、庁外との連携をとっている場合、どのような機関と連携をとっていますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。	１　医師会・歯科医師会・薬剤師会等の職能団体 ２　保健・医療関係機関 ３　介護・福祉関係機関 ４　ハローワーク ５　教育機関（学校等） ６　（雇用主としての）民間企業

観点	設問	回答選択肢
		7　（サービス提供事業者としての）民間企業 8　商工会議所・商工会 9　農協 10　NPO 11　スポーツ関係団体 12　その他（自由記載）
	（3）具体的にどのような連携を行っていますか。	自由記載
	（4）その他、市町村国保において特に力を入れている・工夫していると考えている保健事業の取組があればご回答ください。	自由記載

(2)　ヒアリング調査

2022 年 1 月 24 日から 2022 年 3 月 3 日にかけて、10 都県、9 市町村国保保険者（図表 2-16　ヒアリング先一覧）に web 会議システムを使用してヒアリング調査を実施した。

ヒアリング対象先及びヒアリング内容については、有識者等のご意見・ご推薦を基に、厚生労働省保険局国民健康保険課と相談の上決定した。

ヒアリングの実施に際しては、ヒアリングシート（図表 2-17　都道府県ヒアリングシート 及び 図表 2-18　市町村国保ヒアリングシート）を作成し、事前に保険者へ送付し、ヒアリングの場ではその回答内容をもとに本質的な内容を確認できるよう工夫した。

図表 2-16　ヒアリング先一覧

保険者種別	ヒアリング実施日時	保険者名
都道府県	1 月 27 日 15:00～16:30	山形県
	1 月 31 日 10:00～11:30	長野県
	2 月 7 日 14:00～15:30	福井県
	2 月 8 日 10:00～11:30	新潟県
	2 月 8 日 14:00～15:30	滋賀県
	2 月 15 日 9:30～11:00	静岡県
	2 月 15 日 14:00～15:30	大分県
	2 月 17 日 13:30～15:00	徳島県
	3 月 2 日 10:00～11:30	東京都

保険者種別	ヒアリング実施日時	保険者名
	３月３日 14:00～15:30	山梨県
市町村国保	１月 24 日 13:30～15:00	富山県砺波市
	１月 26 日 14:00～15:30	千葉県柏市
	１月 28 日 14:00～15:30	徳島県徳島市
	２月２日 13:00～14:30	千葉県松戸市
	２月４日 10:00～11:30	熊本県錦町
	２月４日 13:00～14:30	長野県池田町
	２月９日 14:00～15:30	新潟県燕市
	２月 24 日 10:00～11:30	岡山県岡山市
	３月３日 10:00～11:30	宮城県富谷市

図表 2-17　都道府県ヒアリングシート

令和3年度 厚生労働省事業 データヘルス計画に基づく保健事業の実態調査等事業一式
ヒアリングシート

この度はご多用のところ、調査事業のヒアリングにご協力頂き、誠に有難うございます。
以下、ヒアリング項目となりますので、可能な範囲で事前にご検討を頂けますと幸いです。
何卒宜しくお願い致します。

データヘルス計画標準化の取組について	
（標準化の取組有の場合）	
■データヘルス計画の標準化の体制 等	
データヘルス計画の標準化の取組を主に担当する部署、担当者の職種を教えてください。	
データヘルス計画の標準化の取組を進めるにあたり、外部有識者等に相談した内容があれば教えてください。	
標準化の取組を進めるにあたり、参考にした事例や講習等があれば教えてください。	
データヘルス計画の標準化に対する考えとして、xxxと回答した理由を教えてください。（市区町村毎に更新）	
■データヘルス計画の標準化の取組	
標準化の取組を検討するに至った背景を教えてください。	
標準化の取組の検討を始めるにあたり、苦労した点、工夫した点があれば教えてください。	
標準化の取組を進める上で苦労している点、工夫している点があれば教えてください。	
標準化の取組を進める上で感じたメリットとデメリットがあれば教えてください。	
■データヘルス計画の効果検証	
標準化の取組の効果検証を行っている場合、どのように行っているか、具体的に教えてください。	
（標準化の取組無の場合）	
■標準化の取組の検討状況	
データヘルス計画の標準化に対する考えとして、xxxと回答した理由を教えてください。（市区町村毎に更新）	
標準化の取組を進める場合、どの課が主担当となりうるか教えてください。	
標準化の取組を進める場合、障害となりそうな事柄があれば教えてください。	
標準化の取組について、過去に情報収集をしたことがあれば具体的に教えてください。	
標準化の取組を検討するにあたり、欲しい情報があれば教えてください。	

国保連と協働・連携したレセプトデータ等の分析について	
（国保連との協働・連携有の場合）	
■国保連との協働・連携に係る体制 等	
国保連との協働・連携を主に担当する部署、担当者の職種を教えてください。	
協働・連携に際して、国保連とどのような役割分担をしているか教えてください。	
■国保連との協働・連携の取組	
国保連との協働・連携を行うにいたった背景を教えてください。	
国保連との協働・連携の内容を教えてください。（取組概要、頻度、目的等）	
国保連との協働・連携を行う上で苦労している点と工夫している点を教えてください。	
国保連と協働・連携して感じたメリットとデメリットがあれば教えてください。	
■その他	
国保連との協働・連携に望むことがあれば教えてください。	
（国保連との協働・連携無の場合）	
■協働・連携の取組の検討状況	
国保連と協働・連携に至っていない理由を教えてください。	
レセプトデータ等の分析有無を教えてください。実施している場合、主に担当している部署、担当者の職種、外部委託等を教えてください。	
庁内でレセプトデータ等の分析を行っている場合、苦労している点と工夫している点を教えてください。	

医療費適正化の取組について	
■医療費適正化の取組に係る体制 等	
医療費適正化の取組を主に担当してる部署、担当者の職種（外部委託している場合はその旨）を教えてください。	
■医療費適正化の取組の内容	
医療費適正化の取組の内容を具体的に教えてください。	
医療費適正化の取組を行う上で、苦労した点と工夫した点を教えてください。	
■医療費適正化の取組の評価	
医療費適正化の取組の効果検証を行うにあたり、回答の評価指標を選んだ理由を教えてください。(都道府県ごとに修	
医療費適正化の取組の効果検証を行っていない理由を教えてください。	
■保健事業と介護予防の一体的実施	
保健事業と介護予防の一体的実施に取り組んでいますか。取り組んでいる場合、具体的な取組の内容を教えてください。	
保健事業と介護予防を一体的に進めるにあたり、苦労している点と工夫している点を教えてください。	
ご質問は以上です。 ご協力頂きまして誠にありがとうございました。	

図表 2-18　市町村国保ヒアリングシート

令和3年度 厚生労働省事業 データヘルス計画に基づく保健事業の実態調査等事業一式
ヒアリングシート

この度はご多用のところ、調査事業のヒアリングにご協力頂き、誠に有難うございます。
以下、ヒアリング項目となりますので、可能な範囲で事前にご検討を頂けますと幸いです。
何卒宜しくお願い致します。

Ⅰ 組織体制について		
■国保連の支援評価委員の活用		
	国保連の支援評価委員会を活用していますか。	
	支援評価委員会を活用している場合、支援評価委員会を活用した保健事業、背景を教えてください。	
	支援評価委員会を活用している場合、活用して感じたメリット・デメリットを教えてください。	
	支援評価委員会を活用していない場合、支援評価委員会を活用していない理由を教えてください。	
■都道府県との連携		
	都道府県と連携して実施している保健事業があれば教えてください。また、連携に至った背景を教えてください。	
	都道府県と連携して実施している保健事業がある場合、連携を行う上で感じたメリット・デメリットを教えてください。	
■保健所との連携		
	保健所と連携して実施している保健事業があれば教えてください。また、連携に至った背景を教えてください。	
	保健所と連携して実施している保健事業がある場合、連携を行う上で感じたメリット・デメリットを教えてください。	
■その他		
	保健事業の検討・実施時に健康担当以外の部署と情報交換を行っていますか。行っている場合その内容を教えてください。	

Ⅱ　データヘルス計画の中間評価について	
■中間評価の体制	
中間評価を主に担当した課及び関与した課を教えてください。	
中間評価を行うにあたり外部委託を行った場合、委託した内容を教えてください。	
■中間評価の内容	
中間評価を行うにあたり、参考にした事例等があれば教えてください。	
中間評価を実施するにあたって苦労した点・課題と工夫した点を教えてください。	
■中間評価後の取組	
中間評価後の見直しにあたって、苦労した点・課題と工夫した点を教えてください。	
中間評価の結果明らかになった課題とその対策について教えてください。	
中間評価を踏まえた見直しの内容を教えてください。	

Ⅲ　個別の保健事業（新型コロナウイルス感染症対策）	
■事業の体制	
コロナ対策取組を検討する際の体制を教えてください。（担当課、外部委託、相談者の有無 等）	
コロナ対策の取組を実施する際の体制を教えてください。（担当課、外部委託、相談者の有無 等）	
コロナ対策を行うにあたり、参考にした事例等があれば教えてください。	
■取組内容について	
コロナ対策の具体的な内容を教えてください。	
コロナ対策を行うにあたり、苦労している点・課題と工夫している点を教えてください。	
コロナ対策を行い、具体的に得られた成果があれば教えてください。	
コロナ対策として実施をしていたが、中止した取組があれば理由とあわせて教えてください。	
■今後の取組について	
今後、コロナ対策として検討している取組があれば教えてください。	
今後、コロナ対策を検討する中で、課題に感じていることがあれば教えてください。	

Ⅳ　個別の保健事業（ポピュレーションアプローチ）	
■事業の体制	
ポピュレーションアプローチの取組を検討する際の体制を教えてください。（担当課、外部委託、相談者の有無 等）	
ポピュレーションアプローチの取組を実施する際の体制を教えてください。（担当課、外部委託、相談者の有無 等）	
■取組内容について	
具体的なポピュレーションアプローチの取組の内容を教えてください。（主に栄養委員や公民館との連携、アプリを活用した生活習慣改善の取組について）	
ポピュレーションアプローチの取組を開始した背景を教えてください。（主に栄養委員や公民館との連携、アプリを活用した生活習慣改善の取組について）	
ポピュレーションアプローチを実施するにあたって苦労している点と工夫している点を教えてください。（主に栄養委員や公民館との連携、アプリを活用した生活習慣改善の取組について）	
ポピュレーションアプローチに設定している評価指標を教えてください。（主に栄養委員や公民館との連携、アプリを活用した生活習慣改善の取組について）	
過去に実施していたが、中止したポピュレーションアプローチがあれば理由とあわせて教えてください。	
■今後の取組について	
今後、実施を検討しているポピュレーションアプローチの取組があれば教えてください。	
今後のポピュレーションアプローチの取組を検討する中で、課題に感じていることがあれば教えてください。	

Ⅴ　個別の保健事業（休日・夜間の健診）	
■事業の体制	
休日・夜間の健診を検討する際の体制を教えてください。（担当課、外部委託、相談者の有無 等）	
休日・夜間の健診を実施する際の体制を教えてください。（担当課、外部委託、相談者の有無 等）	
■取組内容について	
具体的な休日・夜間の健診の取組の内容を教えてください。	
休日・夜間の健診を開始した背景を教えてください。	
休日・夜間の健診を実施するにあたって苦労している点と工夫している点を教えてください。	
休日・夜間の健診に評価指標を設定していれば教えてください。	
■今後の取組について	
今後、実施を検討している休日・夜間の健診の取組があれば教えてください。	
今後の休日・夜間の健診の取組を検討する上で、課題に感じていることがあれば教えてください。	

Ⅵ 個別の保健事業（40歳未満の健診）	
■事業の体制	
40歳未満の健診を検討する際の体制を教えてください。（担当課、外部委託、相談者の有無 等）	
40歳未満の健診を実施する際の体制を教えてください。（担当課、外部委託、相談者の有無 等）	
■取組内容について	
具体的な40歳未満の健診の取組の内容を教えてください。	
40歳未満の健診を開始した背景を教えてください。	
40歳未満の健診を実施するにあたって苦労している点と工夫している点を教えてください。	
40歳未満の健診に評価指標を設定していれば教えてください。	
■今後の取組について	
今後、実施を検討している40歳未満の健診の取組があれば教えてください。	
今後の40歳未満の健診の取組を検討する上で、課題に感じていることがあれば教えてください。	

Ⅶ その他	
■その他のご質問	
ポピュレーションアプローチ、休日・夜間の健診、40歳未満の健診以外の保健事業において、連携している庁外機関があれば教えてください。	
当該庁外機関と連携するに至った背景を教えてください。	
当該庁外機関と連携するにあたり、苦労している点・課題と工夫している点を教えてください。	
ご質問は以上です。 ご協力頂きまして誠にありがとうございました。	

3.　　アンケート調査結果の分析

アンケート調査の結果について、都道府県および市町村国保としてどのような傾向が見受けられるか集計・確認を行った。

図表 2-19　単純集計を行った項目

保険者種別	確認した項目
共通	国保専任職員の体制
都道府県	国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等分析の目的
	データヘルス計画の標準化の取組を実施するにあたっての工夫
	データヘルス計画の標準化の取組の実施内容
	データヘルス計画の標準化の取組のメリット

図表 2-20　都道府県票において集計を行った項目

#	クロスした項目①	クロスした項目②	仮説・問い
分析１	専任職員の体制	医療費適正化に向けた取組の課題	専任職員の充実度に依って、医療費適正化の取組の課題に違いがあるのではないか。
分析２	専任職員の体制	国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等分析の実施状況	専任職員が充実しているほど、国保連合会との協働・連携が進んでいるのではないか。
分析３	専任職員の体制	データヘルス計画の標準化の取組の実施状況	専任職員が充実しているほど、データヘルス計画の標準化の取組が進んでいるのではないか。
分析４	国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等分析の検討状況	国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等分析を行えていない理由	国保連合会との協働・連携に至っていない都道府県の中で、検討状況毎に課題感が異なっているのではないか。
分析５	国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等分析の実施状況	保健所との意見交換の有無	保健所と適宜意見交換を行えている都道府県は国保連合会との協働・連携も行えているのではないか。
分析６	国保連合会と協働・連携したレセプトデータ等分析を行う目的	保健所との意見交換の有無	保健所と意見交換を行っている都道府県の方が、様々な目的のもと国保連合会と協働・連携しているのではないか。
分析７	データヘルス計画の標準化の取組の実施状況	データヘルス計画の標準化の取組を実施していない理由	データヘルス計画の標準化の取組に至っていない都道府県の中で、検討状況毎に課題感が異なっているのではないか。

図表 2-21　市町村国保票において集計を行った項目

#	クロスした項目①	クロスした項目②	仮説・問い
分析１	被保険者数規模	専任職員の体制	被保険者数規模に応じて専任職員の充実度に差があるのではないか。
分析２	被保険者数規模	外部委託や支援の有無	被保険者数規模に応じて外部委託や都道府県等の支援の状況に差が出るのではないか。
分析３	被保険者数規模	データヘルス計画の中間評価の実施状況	被保険者数規模が小さい市町村では中間評価の実施状況が低いのではないか。
分析４	被保険者数規模	データヘルス計画の見直しの実施状況	被保険者数規模が小さい市町村では計画の見直しの実施状況が低いのではないか。
分析５	被保険者数規模	データヘルス計画の中間評価を実施できなかった理由	被保険者数規模に応じて、中間評価を実施できなかった理由に偏りがあるのではないか。
分析６	被保険者数規模	データヘルス計画の見直しを行ううえで感じた課題	被保険者数規模に応じて、課題感が異なるのではないか。
分析７	被保険者数規模	データヘルス計画の中間評価結果のフィードバック先	被保険者数規模に応じて、フィードバックを行っている関係団体に差が出るのではないか。
分析８	被保険者数規模	保健事業の実施割合	被保険者数規模に応じて、保健事業の実施状況に差が出るのではないか。
分析９	被保険者数規模	ポピュレーションアプローチの内容	被保険者数規模に応じて、実施しているポピュレーションアプローチの

#	クロスした項目①	クロスした項目②	仮説・問い
			内容に差が出るのではないか。
分析 10	被保険者数規模	休日・夜間の健診を行うにあたっての工夫	被保険者数規模に応じて、工夫の内容に傾向が現れるのではないか。
分析 11	被保険者数規模	休日・夜間の健診を行ってない理由	被保険者数規模に応じて、実施できない理由に傾向が現れるのではないか。
分析 12	被保険者数規模	40 歳未満の健診を行うにあたっての工夫	被保険者数規模に応じて、工夫の内容に傾向が現れるのではないか。
分析 13	被保険者数規模	40 歳未満の健診を行ってない理由	被保険者数規模に応じて、実施できない理由に傾向が現れるのではないか。
分析 14	ポピュレーションアプローチの実施状況	特定健診・特定保健指導の実施率	ポピュレーションアプローチが充実している市町村ほど、特定健診・特定保健指導の実施率が高いのではないか。
分析 15	40 歳未満の健診の実施状況	特定健診・特定保健指導の実施率	40 歳未満の健診を行っている市町村では、特定健診・特定保健指導の実施率が高いのではないか。

4.　　情報提供資料の作成

ヒアリング調査から得られた知見について、全国の保険者の取組の参考となるよう、情報提供資料として整理した。以下の情報について、資料として取りまとめた。ヒアリング調査に基づく記載内容は、ヒアリング対象先の保険者に確認いただいた上で掲載している。

図表 2-22　情報提供資料として取りまとめた項目

#	記載内容
1	調査概要
2	都道府県へのヒアリング結果サマリ
3	都道府県の取組事例
4	市町村へのヒアリング結果サマリ
5	市町村の取組事例
6	まとめ

5.　　報告書の作成

本事業で実施した内容につき、報告書として取りまとめた。本事業の目的・背景や、実施内容等を記載している。

第3章　調査結果・まとめ

調査・分析結果について、「アンケート調査結果」及び「情報提供資料」として取りまとめた。取りまとめにあたっては、有識者及び厚生労働省保険局国民健康保険課と適宜相談を行い、確認の上で実施している。

「アンケート調査結果」及び「情報提供資料」を別途添付して納品する。